

JEAC4206-2004 原子力発電用機器に対する破壊靱性の確認試験方法  
に対する質疑応答

Q：下記項目が当該部分の元となっている，日本機械学会 発電用原子力設備規格  
設計・建設規格 (JSME S NC1-2001,2005)と記述が異なります。

何かこの件に関してコメントが公表されているのであればご教示下さい。

<内容>

JEAC 4206-2004 表-FE-3100-1 横膨出量要求値 厚さまたは対辺距離 (mm) の範囲  
が JSME S NC1 と異なる (PVE-2332-1)。

JEAC-4206	JSME S NC1
16 以上 19 以下	16 t , d 25
19 以上 38 以下	25 < t , d 38
38 を超え 63 以下	38 < t , d 63

表-FE-2100-2 吸収エネルギー要求値と対応が取れないことと，JSME S NC1-2001 が  
当初，同じ誤記をしており，後に誤記を公表しております。

よって，誤記を公表している文書があればご教示下さい。また，無い場合はご判断下  
さい。

A：ご指摘の通りです。

JSME の設計・建設規格は，19mm から 25mm に誤記訂正として 2005 年版発行時に変更  
しています。

誤記訂正として記載のあるのは，2005 年版の解説の「解説付録 2001 年版からの主  
要変更点一覧表」No.79(1-解説 変更点-5)にありますので確認下さい。(下記に No.79  
の抜粋を示します)

79	I-4-178	PVE-2332	条項番号変更及び表現の見直し 表 PVE-2332-1 の寸法区分を 19mm から 25mm に変 更 (誤記訂正)
----	---------	----------	---

JEAC4206-2004 の当該部分は JSME 設計・建設規格と要求を合わせたものであり，JSME  
設計・建設規格の 2005 年版で誤記として訂正されたので，JEAC4206-2004 も JSME 設  
計・建設規格と同様に，誤記訂正として次回の改定時に併せて改定します。

以上